

平成 29 年秋期 ネットワークスペシャリスト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2017,12,20

10 月 15 日 (日) に行われた平成 29 年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、ネットワークスペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■ネットワークスペシャリスト試験 (NW)

[平成 29 年秋期のネットワークスペシャリスト試験 統計情報]

応募者	19,556 人
受験者	12,780 人
合格者	1,736 人
合格率	13.6%

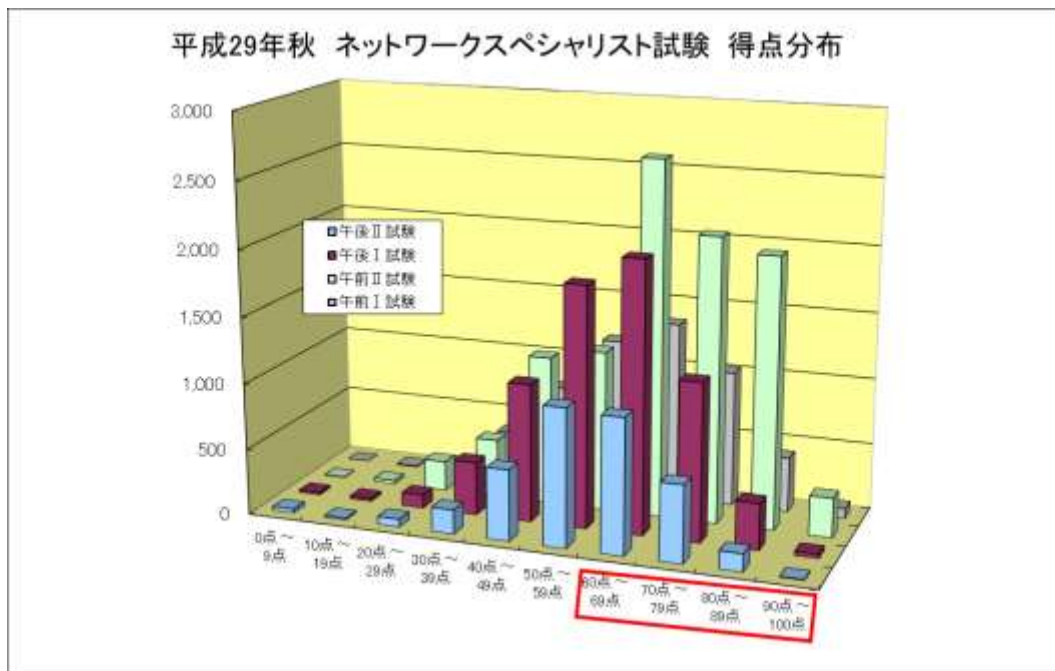
平成 29 年秋期のネットワークスペシャリスト試験の合格率は 13.6%で、前回の 15.4%に対して少し減少しました。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[平成 29 年秋 ネットワークスペシャリスト試験 スコア分布]

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	0	3	19	31	
10 点 ~ 19 点	7	24	24	14	
20 点 ~ 29 点	71	227	102	60	
30 点 ~ 39 点	373	444	405	184	
40 点 ~ 49 点	772	1,128	1,044	537	
50 点 ~ 59 点	1,182	1,211	1,816	1,040	
60 点 ~ 69 点	1,354	2,665	2,037	1,016	
70 点 ~ 79 点	1,023	2,138	1,191	580	
80 点 ~ 89 点	415	2,031	352	135	
90 点 ~ 100 点	74	299	32	5	
計	5,271	10,170	7,022	3,602	1,736
対前試験比率		192.9%	69.0%	51.3%	48.2%
午前 I 免除者 (概数)	7,509	58.8%			

合格者数	1,736	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	2,866	54.4%	1,130
午前 II 60 点以上合計	7,133	70.1%	5,397
午後 I 60 点以上合計	3,612	51.4%	1,876
午後 II 60 点以上合計	1,736	48.2%	0



午前Ⅰ試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前Ⅰ試験の免除者は概算で7,509人(58.8%)おり、過半数の受験者の人が午前Ⅱからの受験となりました。この比率で最近では推移しています。

次に午前Ⅰ試験で基準点(60点)以上の人は2,866人(受験者の54.4%)で、前回の54.8%とほぼ同じでした。問題自体は前回よりも少し難しかったといえます。

午前Ⅱ試験で基準点以上の人は7,133人(受験者の70.1%)となっており、前回の71.7%からは微減です。

午後Ⅰで基準点(60点)以上取れた人は51.4%で、前回の50.7%から微増です。

午後Ⅱで基準点(60点)以上取れた人は48.2%で、こちらは前回の53.5%から減少しました。

■平成29年秋期 ネットワークスペシャリスト試験 出題内容について

(午前Ⅰ試験(高度試験の共通知識問題))

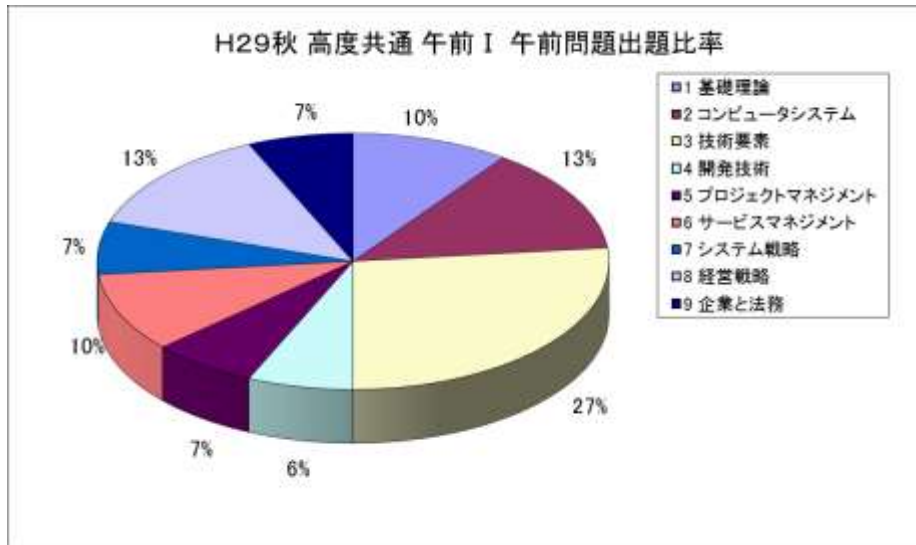
・高度試験に共通して出される問題30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験(AP)から選ばれています。今回の問題内容は、考察問題が3問に減り(前回8問)、他の計算問題、文章問題、用語問題が増えました。基礎理論の問題が例年より解答しやすい内容でしたが、新傾向問題が少し難しいことから、全体としては同じ難易度といってよいと思います。

- ・過去問題の比率は約6割で従来どおりの比率です。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で23ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容(中分類)からは複数出題されています。現在はセキュリティ分野を重視した出題になっており、出題数は前回と同じ4問でした。
- ・新傾向問題は次の5問で、前回より1問ですが増えています。

(新傾向問題)

- 問8 アクセシビリティ設計に関する規格の適用目的
- 問14 サイバーレスキュー隊(J-CRAT)の役割
- 問24 情報システムの開発で多段階契約を採用する目的
- 問27 国際基準に適合した製品を製造及び販売する利点
- 問28 IoT技術のエッジコンピューティングの説明

平成 29 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



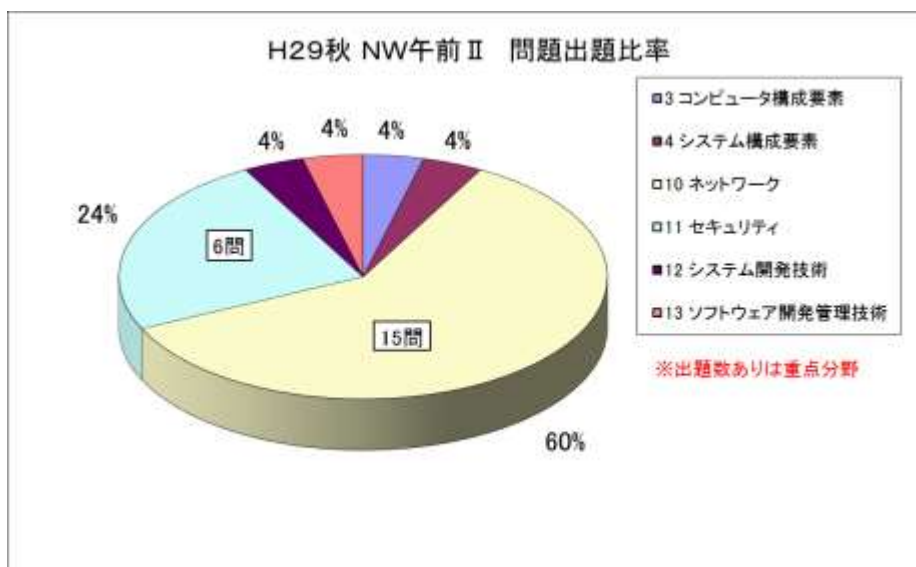
(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験で、ネットワークとセキュリティの専門知識の出題数は 15 問と 6 問の合計 21 問で、前回と同じでした。

新傾向問題としては、次の問題がありました。

- 問 3 RIP-2 と OSPF の比較
- 問 4 VLAN の VID のビット長
- 問 6 MX レコードに関する記述
- 問 8 IPv6 アドレスに関する記述
- 問 9 SMTP に関する記述
- 問 13 OpenFlow プロトコルの説明
- 問 17 SYN/ACK パケットを受信した場合の攻撃
- 問 20 マルウェアによる被害を防止する VDI の使用形態

平成 29 年秋期のネットワークスペシャリスト試験 午前 II 問題出題比率



(午後問題)

・午後Ⅰ問題の出題テーマと設問概要は、次のとおりです。全体にネットワークセキュリティに重点を置いた出題になっていて、詳細な知識を追われる設問が多かったといえます。

問1 SSL-VPNの導入(中堅システム開発会社)

システム構築業務の問題と解決策、暗号アルゴリズム、SSL-VPNの導入検討、VLAN間の不正通信制限、SSL-VPN接続するPCの通信制限、アクセスリスト、禁止される通信

問2 仮想デスクトップ基盤の導入(建設会社)

仮想デスクトップ基盤の事前調査、SSL可視化装置、標的型攻撃対策装置の導入、ネットワーク構成の検討、帯域制御の設計、シンクライアントの操作性、仮想PCマルウェア感染時の対応

問3 社内ネットワークとクラウドサービスとのネットワーク接続(加工食品会社)

クラウドサービスとのネットワーク接続の検討、インターネットVPN接続の検討、トランスポートモードの選択、IPinIP、経路情報の交換の検討、静的/動的経路制御、ネットワーク監視の検討

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問2が問1に比べると少し解答しやすい問題でした。

問1 SDNとクラウドの活用(生産機械メーカー)

NW拡張の概要、SDN技術の調査、LANの物理構成、通信シーケンス、運用の調査、登録エントリ、クラウド利用拡大の検討、FQDN、エッジサーバ切換え、IaaS環境のバックアップ、RTO短縮

問2 無線LANシステムの導入(ネットワーク関連製品販売会社)

営業部の課題、無線LAN技術の調査と選定、データ暗号化方式と認証方式の検討、カウンタモード、アクセスポイント設置方法の検討、周波数帯域幅、アンテナ本数、チャンネルボンディング、最少供給電力、デジタル証明書配布方法の検討、無線LAN接続構成の設計

•
•
•
iTEC